

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 森脇 康仁 ( 木戸 徹 )	内線	4459 (4465)
事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	2.8 億円
		通常砂防事業 あおやま 青山川		内用地補償費	0.1 億円
所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
養父市 八鹿町 門前 <sup>もんぜん</sup>			19年度	19年度	22年度
事業目的			事業内容		
土石流災害対策 ・土石流危険渓流に該当し、溪岸の浸食が進んでおり土砂災害の危険性が高まっているため、えん堤工を設置して地域住民の人命、財産、駐在所、門前公民館、県の指定文化財である青谿書院及び市道を保全する。			・砂防えん堤工 3基 (H = 8.0m, L = 37.0m) (H = 8.0m, L = 40.0m) (H = 9.0m, L = 37.0m) 〔負担割合 国: 1 / 2、県: 1 / 2〕		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青山川は土石流危険渓流である。</li> <li>・平成16年10月の台風23号により、溪岸の浸食が進むなど流域内も広範囲に荒廃している。土石流対策としては、既設えん堤があるが、満砂しており、整備率は低い水準にある。</li> <li>・溪流勾配は急峻で、溪岸の侵食が激しく土石流発生の危険性は高い。</li> <li>・保全対象: 人家 = 22戸、公共施設 = 駐在所、門前公民館、青谿書院(指定文化財)、市道(孤立化)、その他 = 工場1棟(従業員数30名)、田畑 = 3.00ha</li> </ul>				
地域の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・砂防えん堤工事により土砂災害の危険性を軽減し、地域の生活道路である市道を保全することにより、上流集落の孤立化を防止し、地域間の交流に一層寄与する。</li> <li>・地域の産業である工場1棟を保全することにより、地域の活性化に寄与する。</li> </ul>				
快適性・ゆとり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・えん堤設置により土石流を止め、下流域の住民に安全で快適な生活空間を提供する。</li> </ul>				
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元の土砂災害に対する認識度も高く、事業化への要望が強い。</li> <li>・豪雪地帯対策指定地域及び過疎対策法対策市に該当し、砂防えん堤工の整備により条件不利地域の安全性向上に寄与する。</li> <li>・宿南地区水害対策促進の一環として砂防えん堤を設置し、下流域への土砂氾濫を防止することにより、浸水対策に寄与する。</li> </ul>				
(2)有効性・効率性 有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人命・財産(人家22戸)、駐在所、地域住民の交流の場である門前公民館、県の指定文化財である青谿書院及び市道が保全されるので、事業実施による投資効果は大きい。</li> </ul>				
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元からの要望が強く、市等の協力体制が整っており、円滑な事業執行が可能である。</li> </ul>				
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業に伴う地形の改変を最小限にとどめ、法面緑化を図るなど環境保全に努める。</li> </ul>				
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土石流の想定被害区域には、人家22戸、駐在所、地域住民の交流の場である門前公民館、県の指定文化財である青谿書院及び市道がある。</li> <li>・流域状況は平成16年10月の台風23号により土砂が流出し、流域の荒廃が進み、今後も土砂流出の危険性が高く、門前地区の人命・財産等を保全するため早急な対策が必要である。</li> </ul>				